

上海かわら版

上海日本人学校浦東校
野田剛

平成23年9月

上海の生活が始まり、はや半年がたちました。少しではあります、こちらの生活にもなれてきたので、みなさんには上海の様子をお伝えしたいと思います。

今回は記念すべき第一号ということで、学校の様子をお伝えします。

まずは児童玄関です。江崎玲於奈さんが書いた学校看板です。学校の顔として、特別な存在感をはなっています。(写真上)

次に始業式の様子です。全校児童・生徒の1300人が一同に集まっているので、はく力があります。エアコンのおかげで、体育館の中はすずしいです。(写真下)

次に下校の様子です。週一回、全校一斉下校となっています。じゅ業が終わってから約十分で学校から完全に子どもがいなくなります。下校方法は二通りしかなく、一つはバス下校、もう一つはお家の人のおむかえ下校です。下校バスは約二十台あり、およそ半分の児童生徒がバスになります。そのバスが車のながれを止めて一気に出て行く様子は、映画の1シーンのようで、思わず見とれてしまします。(写真上)

また先日、上海で7人制ラグビーのせかい大会がありました。その大会に出場するため日本代表が学校に来て、高学年と交流したり練習したりしてきました。その時の様子です。選手の体はきん肉のよろいにおおわれているようでした。(写真下)

次回は、上海のまちの様子をお伝えしたいなと思っています。楽しみにしていてください。

